

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年  
定時株主総会 毎年6月に開催します。  
剰余金の配当の基準日  
    期末配当 3月31日  
    中間配当 9月30日  
定時株主総会の基準日 3月31日  
    その他必要があるときは、予め公告して基準日を定めます。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
郵便物送付先 168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問い合わせ先 ☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
受付時間は9:00~17:00 (土日祝日を除く)

特別口座に関する事務取次所 みずほ証券株式会社本店および全国各支店  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)  
みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。  
なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、大阪市において発行する産業経済新聞に掲載いたします。  
(「ホームページ」) <https://www.kurimoto.co.jp>

単元株式数 100株  
上場証券取引所 東京証券取引所  
証券コード 5602

### ■ 100株未満の株式をお持ちの株主様へ

当社の単元株式数(売買単位)は、100株です。  
一方、単元未満株式(1~99株)につきましては、証券市場で売却することはできませんが、当社に対して買取を請求して売却できる制度をご利用いただけます。お手続き等の詳細は、お取引の証券会社もしくは、上記のみずほ信託銀行までお問い合わせください。

### ■ 株式に関するお問い合わせ先

- 証券会社に株式をお預けの株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の受け取り方法の変更等、株式に関する各種お手続きは、お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 証券会社に株式を預けておられない株主様の場合、当社のみずほ信託銀行に開設しております「特別口座」にて株式を管理しています。特別口座の株式は、単元未満株式の買取請求を除き売買できませんので、証券会社に株主様名義の口座を開設し、株式を振替されることをお勧めいたします。お手続き等の詳細は、特別口座の口座管理機関である、上記のみずほ信託銀行へお問い合わせください。
- 未払配当金のみ、みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

ホームページで最新情報を即座に発信

<https://www.kurimoto.co.jp>



## KURIMOTO REPORT 2021

<https://www.kurimoto.co.jp/csr/>



株式会社 栗本鐵工所



KURIMOTO

第126期

# 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



## コーポレートメッセージ

# モノづくりで未来を創る、クリモト

クリモトは、1909年の創業以来、お客様満足第一のモノづくりに徹して、社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に貢献してきました。

これからも、110年で培った技術力にさらに磨きをかけ、独自の技術と製品・サービスで社会の生命線と人々の暮らしを守り、社会に貢献し続けたい。

そして、チャレンジ精神・創造力溢れるオンリーワン企業へ。

それが、クリモトの願いです。

## 企業理念

1. 私達は水と大気と生命(いのち)の惑星、地球を大切に、人間社会のライフラインを守ります。
2. 私達は「安心」という価値を提供し、社会と顧客の信頼に応えます。
3. 私達は顧客の声をよく聴き、顧客から学び、独自の技術を深め、新しい技術を加え、顧客にオリジナルな「最適システム」を提案します。
4. 私達はモノづくりを通して、社員の幸せと人間社会の幸せを目指します。
5. 私達はこれらの実践のため、コンプライアンス経営を徹底し、継承と変革の調和を計り、個性と創意を尊重し、企業の発展と社会への貢献に努めます。

## CONTENTS

3	トップコミットメント
5	事業の概況
6	事業部別営業品目の紹介
7	財務ハイライト
8	連結財務諸表
9	株式の状況
10	会社概要

表紙写真：栃木県 中禅寺湖と男体山  
P1、P2写真：福島県 中津川渓谷



株式会社栗本鐵工所  
代表取締役社長

菊本 一高

ステークホルダーの皆様へ

## 着実に持続可能な道筋を歩み 新たに芽吹いた事業の成長を 加速させてまいります。

### 第126期中間期の概況をご報告いたします

平素は当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は1909年2月に鑄物技術を活用した水道用鑄鉄管製造をもとに創業して以来、快適で安心して暮らせる社会の実現のため、110余年にわたって社会のインフラ整備、ライフラインや産業設備の拡充に取り組んでまいりました。当社グループをお引き立て、ご愛顧いただいておりますステークホルダーの皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、2021年度上期を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡がり確認されてから1年以上が経過し、新たな生活様式が定着しつつあり、経済活動も一部の業種では回復の兆しが見えてきたかに思われました。しかし、東京オリンピック開催後の第5波の感染拡大により、長期間におよぶ緊急事態宣言下での活動を余儀なくされ、当社グループを取り巻く事業環境もセグメントによっては厳しい状況が続いております。

そのような新型コロナウイルス感染症による不透明感が続く中、2021年度第2四半期の連結業績は、前年度と比較

いたしますと、減収減益の結果となりました。また、期初公表値に対しましても、民間設備案件の繰り延べなどにより売上高、営業利益とも未達の結果となりましたが、人々の生活を支える社会インフラ分野における需要は底堅く推移しており、通期では期初公表値の達成を見込んでおります。

当社グループでは2021年度から、着実な持続的成長の道筋を付けるための当中期3ヵ年経営計画をスタートしております。国土強靱化やカーボンニュートラルに向けた長期的視点での社会からの要請は変わらないとの信念のもと、当中期3ヵ年経営計画では、既存事業のさらなる基盤強化を図るとともに、前中期3ヵ年経営計画期間にて芽吹いた新たな事業の成長を加速させてまいります。

また、この社会環境の変化を当社が抱える課題を解決する好機と捉え、業務改革によるニューノーマルへの適応、人材戦略推進に加え、SDGs、ESGを包括したCSR経営の推進により経営基盤の強化を図り、企業の持続的成長と収益性の改善を目指してまいります。

われわれ当社グループは、経営理念のもと「チームクリモト」として一丸となり、失敗を恐れるあまり何もしないのではなく、積極的に勇敢にチャレンジする組織風土をさらに醸成してまいります。そして、常にお客様にとっての最適なシステム(商材、仕組み、ノウハウ、サービス等の組み合わせ)を提供していくことで、「焦らず・力まず・諦めず」に人や社会にとってより良い未来を創造することを目指し、これまでも、そしてこれからも、当社グループは変わり続けてまいります。

### 経営理念

私たちは、  
全てのステークホルダーの  
期待と信頼に応え、  
常に最適なシステムを提供し、  
『夢ある未来』を創造します。

### 配当について

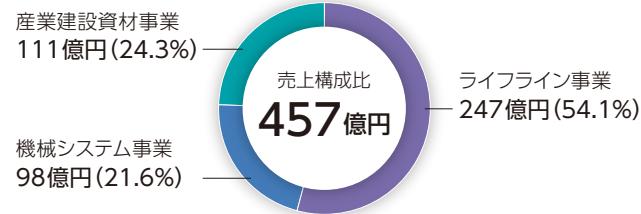
なお、当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を最重要政策のひとつと位置付けており、安定的・継続的に配当を実施することを基本方針といたしております。

この度、当期の業績および経営環境等を総合的に判断いたしました結果、当期の中間配当につきましては1株当たり35円といたします。

長きにわたり、事業活動を継続できたことは、ひとえにステークホルダーの皆様のご指導、ご鞭撻の賜物です。

これからもより一層のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

# 事業の概況



## ライフライン事業 売上高 247億円

「ライフライン事業」は、売上高につきましては、パイプシステム部門、バルブ部門で天候不良などに起因する工事の遅れもあり売上が減少したことなどで、前第2四半期連結累計期間比1,918百万円減収の24,711百万円となりました。

営業損益につきましては、減収に加え、原価低減活動は進捗しているものの、原材料価格の高騰が続いており、前第2四半期連結累計期間比685百万円減益の741百万円の利益となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「パイプシステム事業」としていた報告セグメントの名称を「ライフライン事業」に変更しております。



## 機械システム事業 売上高 98億円

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で前年度に比べ大型物件の出荷が無かったことなどにより、前第2四半期連結累計期間比4,672百万円減収の9,879百万円となりました。

営業損益につきましては、機械部門の減収の影響などにより、前第2四半期連結累計期間比526百万円減益の389百万円の損失となりました。



## 産業建設資材事業 売上高 111億円

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、建材部門で消音製品を中心に出荷が減少したことに加え、化成品部門でも電力製品など出荷が減少したことなどで、前第2四半期連結累計期間比2,543百万円減収の11,113百万円となりました。

営業損益につきましては、減収による減益に加え、原材料価格の高騰が続いていることなどにより、前第2四半期連結累計期間比482百万円減益の86百万円の損失となりました。



# 事業部別営業品目の紹介

(2021年9月30日現在)

## ライフライン事業



### パイプシステム事業部

人々の暮らしを地下で支える水道管やガス管。身近な暮らしの場面から大きな役割を担うこれらのダクタイル鉄管は、大都市・郊外・農村などあらゆる所で活躍しております。

- 営業品目  
ダクタイル鉄管(直管、異形管、接合部品)、管路の設計、施工、施工監理業務および管路調査、点検等の維持管理業務



### バルブシステム事業部

浄水場などの官需分野から、発電所・製鉄所・プラントなどの民需分野、海外向けのバルブを多数取り扱っております。

- 営業品目  
バタフライ弁、ソフトシール仕切弁、スリーブ弁、火力・水力発電設備用バルブ、貯水槽用緊急遮断弁、各種調整弁、高炉用弁類、スプリンクラー用予作動式(負圧湿式)流水検知装置

## 機械システム事業



### 機械システム事業部

さまざまな産業の生産ラインを支える産業機械設備は各種製品を世に送り出す一翼を担っています。また、単体設備からトータルエンジニアリングまで、幅広く社会に貢献してまいります。

- 営業品目  
微粉碎機、分級機、造粒機、乾燥機、焼成機、混合・混練・分散機、反応機、溶剤回収装置、二次電池材料製造装置、各種産業機械、試験機械、プラントおよびシステム設備、鍛造プレス、ベンディングロール、鍛圧機各種周辺装置、プラントエンジニアリング事業/各種プラントの設計、製作、調達、建設、試運転およびメンテナンス



### 素形材エンジニアリング事業部

破碎技術・材料技術を有する素形材エンジニアリング事業部の商品群は、骨材資源業界、鉄鋼業界、電力業界、セメント業界、鉄道運輸業界を網羅して各種産業分野で活躍しております。

- 営業品目  
破碎機、粉砕機、分級機、搬送機械、耐摩耗鑄物、耐熱鑄物、耐摩耗ポンプ、鉄道用ブレーキディスク、ブレーキライニング、(英) TEREX/FINLAY商品

## 産業建設資材事業



### 建材事業部

幅広い製品ラインナップと迅速なデリバリーで皆様の期待にお応えしております。

- 営業品目  
スパイラルダクト、各種フレキシブルダクト、サイレントフレックス、各種消音製品、ステンレスダクト、スーパースパイラル、プレミアムスパイラルダクト、コルエアダクト(段ボール製ダクト)、ワインディングシース、ポリエチレンシース、ワインディングパイプ、梁貫通孔補強筋(スーパーハリー Z)、中空スラブ、各種耐震製品、ハーフプレキャスト製品(カイザースラブ・カイザーバルコニー)、PCaシステム階段、消音・騒音対策事業(測定・設計・製作・施工・確認)、透光型吸音パネル(ビューゾーン)

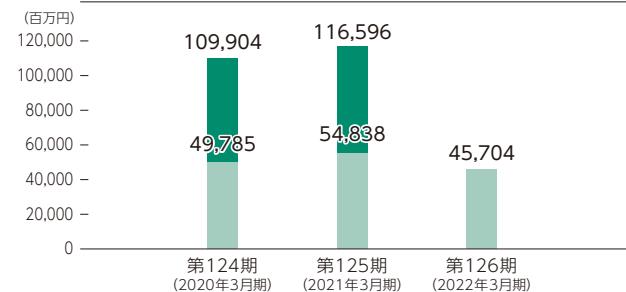


### 化成品事業部

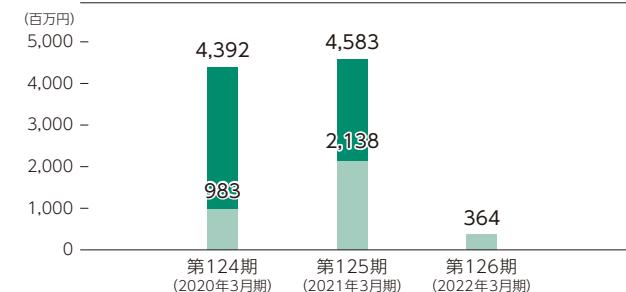
FRPが持つ多機能で自由度の高い特性を活かし、真に信頼される製品づくりを目指して、広く社会基盤の整備に貢献してまいります。

- 営業品目  
強化プラスチック複合管(FRP管)、強化プラスチック複合板(FRP板)、FRPコア、FRP引抜成形品、各種合成樹脂成形品

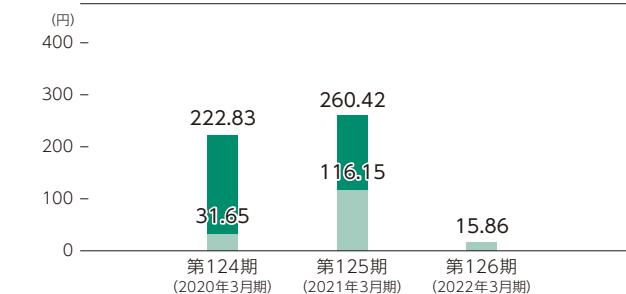
## ■ 売上高



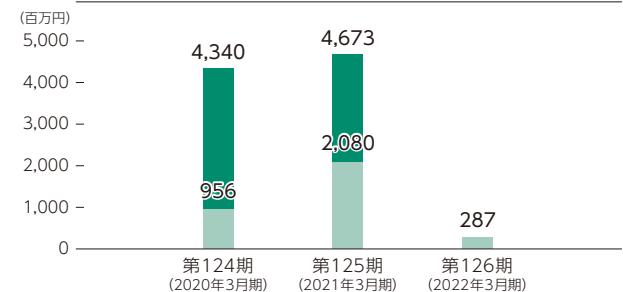
## ■ 経常利益



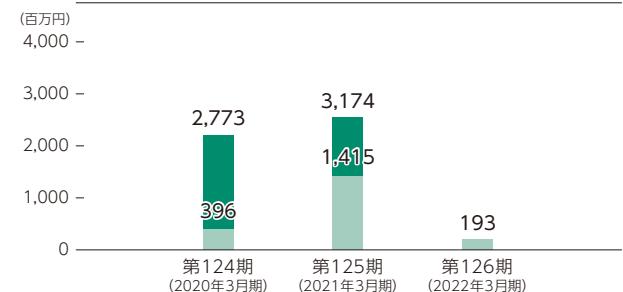
## ■ 1株当たり四半期(当期)純利益



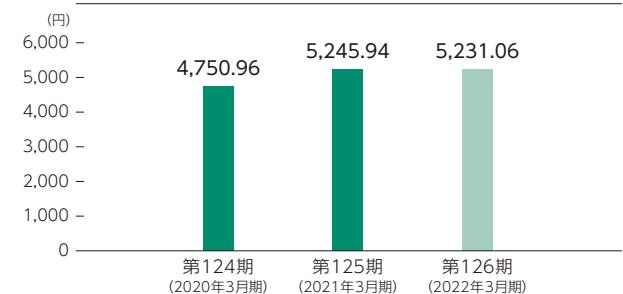
## ■ 営業利益



## ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



## ■ 1株当たり純資産額



## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末
	2021年9月30日現在	2021年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	80,214	82,634
固定資産	51,926	51,843
有形固定資産	32,889	32,886
無形固定資産	1,883	1,852
投資その他の資産	17,153	17,103
資産合計	132,140	134,477
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	56,212	57,543
固定負債	10,927	11,822
負債合計	67,140	69,366
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	60,984	61,271
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	24,733	25,028
自己株式	△ 1,808	△ 1,817
その他の包括利益累計額	2,827	2,695
その他有価証券評価差額金	3,321	3,306
繰延ヘッジ損益	△ 0	-
為替換算調整勘定	7	△ 52
退職給付に係る調整累計額	△ 500	△ 558
非支配株主持分	1,188	1,144
純資産合計	65,000	65,111
負債・純資産合計	132,140	134,477

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
売上高	45,704	54,838
売上原価	35,394	42,411
売上総利益	10,309	12,427
販売費及び一般管理費	10,022	10,347
営業利益	287	2,080
営業外収益	290	276
営業外費用	213	218
経常利益	364	2,138
特別利益	0	6
特別損失	56	2
税金等調整前四半期純利益	308	2,142
法人税、住民税及び事業税	86	480
法人税等調整額	△ 42	133
法人税等合計	44	614
四半期純利益	263	1,527
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	1,415

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	2021年4月1日から 2021年9月30日まで	2020年4月1日から 2020年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	584	2,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,117	△ 2,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 67	△ 1,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	△ 18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 553	△ 1,270
現金及び現金同等物の期首残高	20,359	20,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,805	19,060

## 株式の状況

### ■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	39,376,600株
発行済株式の総数	13,098,490株
単元株式数	100株
株主数	7,637名

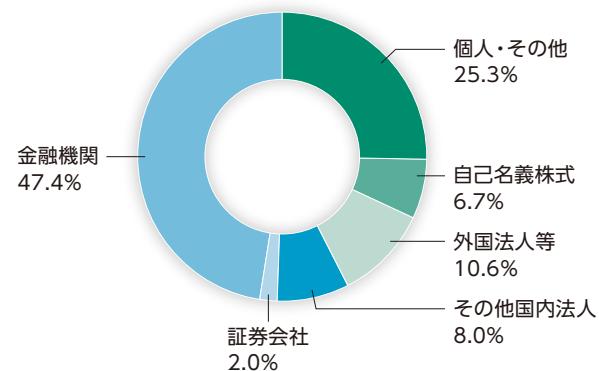
### ■ 大株主(上位10名) (2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
太陽生命保険株式会社	1,209	9.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,101	9.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	828	6.7
日本生命保険相互会社	678	5.5
株式会社りそな銀行	444	3.6
株式会社みずほ銀行	362	2.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	320	2.6
岩谷産業株式会社	289	2.3
株式会社三井住友銀行	272	2.2
デイエフエイ インターナショナル スモール キャップ バリュウ ポートフォリオ	220	1.8

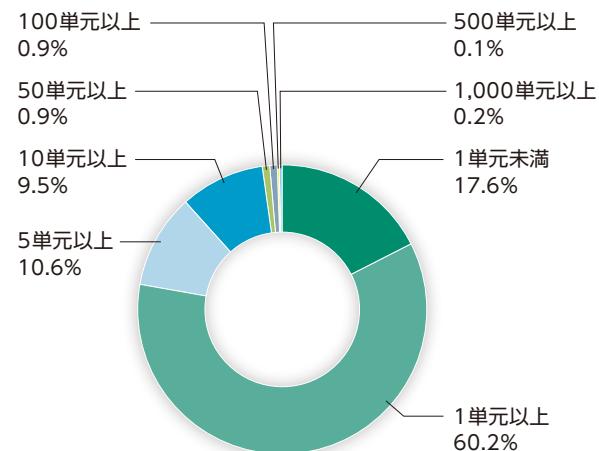
※1 当社は自己株式(880,268株)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。  
 ※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

※3 自己株式には、株式給付信託(BBT)の信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式19,556株は含んでおりません。

### ■ 所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



### ■ 所有株式数別株主分布状況 (2021年9月30日現在)



## 会社概要

### ■ 会社の概要 (2021年9月30日現在)

社名	株式会社 栗本鐵工所
英文社名	Kurimoto, Ltd.
創立	1909年2月2日
設立	1934年5月10日
資本金	31,186,098,159円
従業員数	1,353名(単体) 2,140名(連結)

### ■ 役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	菊本 一高
取締役会長	串田 守可
取締役専務執行役員	岡田 博文
取締役常務執行役員	屋地 幹生
取締役上席執行役員	新宮 良明
取締役上席執行役員	織田 晃敏
社外取締役	近藤 慶子
社外取締役	佐藤 友彦
常勤監査役	村田 実
社外監査役	有田 真紀
社外監査役	本多 修
上席執行役員	小島 眞也
上席執行役員	吉永 泰治
上席執行役員	浦地 好博
執行役員	福井 武久
執行役員	上田 高生
執行役員	野口 安次
執行役員	丸谷 等
執行役員	廖 金孫
執行役員	美濃 雅信
執行役員	佐野 康雄
執行役員	田淵 泰志
執行役員	藤本 容志

### ■ クリモトグループ

#### 国内関係会社

- 栗本商事株式会社
- ヤマトガワ株式会社
- 北海道管材株式会社
- クリモトロジスティクス株式会社
- クリモトパイプエンジニアリング株式会社
- 株式会社本山製作所
- 株式会社ケイエステック
- 八洲化工機株式会社
- ジャパンキャストリング株式会社
- 日本カイザー株式会社
- 株式会社ゼンテック
- クリモトポリマー株式会社
- 株式会社クリモトビジネスアソシエイツ

#### 海外関係会社

- 栗光股份有限公司
- 栗鉄(上海)貿易有限公司
- Readco Kurimoto, LLC
- Kurimoto USA, Inc.